



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 24-11

5月号

発行 2022年5月23日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「自クラブの活動への参加と併せて、部・区・国際などの活動にも積極的に参加しよう!!」

国際会長主題: “Y's Men with the World”
「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長主題:

“Make a difference beyond the 100th”
「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事主題: “Think for the next generation”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

関東東部部長主題: 「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	森下 千恵子
書 記	利根川 恵子
地域奉仕・Yサ	吉田 公代
メネット	吉田 公代
国際・交流	生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
ファンド	山崎 純子
担当主事	河合 今日子

巻頭言

会長 吉野勝三郎

今回は、YMCA の“C”について考えてみたいと思います。

昨年6月に制定された、一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区定款の第4条「事業」この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

第1項 “YMCA に対する奉仕事業” (第2項以降省略)とあります。つまり、私達の活動は、YMCA との関係性を第一に考えているのです。そのため、川越クラブには、埼玉 YMCA の職員である河合今日子さんが担当主事として会員登録され、毎月の例会で、YMCA 報告を行っていただいています。

先日、埼玉 YMCA のある会合で、「私の軸足は教会にある。」と言われた方がありました。その方は、長年の知り合いで、頻繁にお会いしている方なので、改めてそう言われてみて、私も「軸足は教会にある。」ことをきちんと声に出して言うことが大切だと思われました。皆さんそれぞれ「軸足」は違っていても、YMCA の活動に共感してワイズに加わっておられる訳ですが、他の奉仕団体との違いは“C”を明確に打ち出しているところだと思います。

信仰を押し付ける気持ちは毛頭ありませんが、YMCA は日本語では「キリスト教青年会」と訳されているとおり、“C”がその中心にあります。埼玉 YMCA では、毎月1日午前7:00から、オンラインで、早天祈祷会を行っています。次回235回目の祈祷会は6月1日(水)にあります。クリスチャンでない方も参加しています。7:00から8:00まで、讃美歌を歌い、聖書を読み、毎回異なった牧師や信者がメッセージを語り、その後、時間のある方は、20分程、まじわりの時を持っています。どうぞ、参加して、YMCA の“C”の一端に触れてみて下さい。

5月の聖句

恵みの業をもたらす種を蒔け、愛の実りを刈り入れよ。
新しい土地を耕せ。(ホセア書 10章 12節)

Sow for yourselves righteousness; Reap in mercy;
Break up your fallow ground. (Hosea 10:12)

2022年4月の統計(4月23日)

在籍10名 出席者6名

ビジター 2名

出席率 60%

5月例会予告

日時: 2022年5月28日(土) 14:00~16:00

会場: 「き咲きでらす」

(さいたま市浦和区木崎3-6-6)

内容: 埼玉3クラブ合同例会

卓話: 「(仮題) テレジンの子どもたち」

卓話者: テレジンを語りつぐ会代表

野村路子氏

会費: 500円

4月例会報告

書記 利根川恵子

日時:4月23日(土)14:00~16:30

場所:川越YMCA

ビジター:吉野ふじ子メネット

1. 卓話

卓話:「川越街道と新河岸川の舟運～江戸と繋ぐ陸と川の道の盛衰～」

卓話者:神山節夫氏

内容:

神山節夫さんは、当クラブ・メンバー・山崎純子さんの義弟で、今まで、2回、川越についてお話をいただいています。神山さんは、江戸東京博物館のガイドを10年なさっていたり、川越検定では100点満点を取ったり、歴史マニアで、毎回お話が深く、今回も川越について、多くの知識を得る例会となりました。

詳細は省かせていただきますが、川越街道は人の流れ、新河岸川はものの流れの中心となり、川越の発展に大きく寄与したことをわかりやすくご説明いただきました。

陸の道、川越街道は、江戸日本橋から川越城西大手門へと通じる道程十里半(約42km)の街道です。江戸で事が起こったときに、その日のうちに援軍が出せる軍事道であり、また、仙波東照宮が創建されてからは、将軍が参拝する脇街道として、5代藩主・松平信綱によって整備されました。大正3年の東武東上線開通まで街道筋は賑わっていました。

一方、新河岸川の舟運は、寛永15年の川越大火で焼失した仙波東照宮および喜多院の再建資材を寺尾村五反田に荷揚げしたことに始まります。後に、川越城を北関東防備の要衝とするために松平信綱が水路の開設に着手し、新河岸から荒川合流地点までの約30里を整備しました。舟運は藩領の蔵米や藩の資材を運搬することに使われていましたが、享保期になると川越商人を中心に運営されるようになり、江戸へ下る船は、米、麦、醤油、綿実、炭などが積まれ、江戸からは、干鰯、金肥(糟、灰、油)、小間物、調度品、日用雑貨などが運ばれてきました。明治後期まで重要な交通路として貢献しましたが、鉄道網の発達と新河岸川の河川改修工事による水量の減少で、昭和6年300年にわたる舟運の歴史に終止符を打ちました。

川越の水陸両面におよぶ江戸との深い繋がりを再認識し、街歩きがまたまた一層楽しさを増す材料となるお話でした。詳しい内容を知りたい方は、資料をお送りいたしますので、川越クラブ書記・利根川恵子までご連絡ください。

当日は、Week4Wasteの取り組みに参加する予定でしたが、あまりの猛暑に怖じ気づき、神山さんのお話をたっぷり伺うことにいたしました。また機会をみて、Weed4Wasteの環境整備活動に取り組みたいと思います。



4月例会参加者

2. 「国際議員・アジア太平洋地域次期会長として」

(利根川恵子ワイズによる卓話)

いよいよ7月から、国際議員としての任期が始まります。また次期アジア太平洋地域会長としてアジア太平洋(ASP)地域の執行役員トロイカ(直前・現・次期会長および現書記と会計)の一員になります。

そこで、ホームクラブとしてどのような係わりが出てくるのかなどを考える参考として、国際議員の役割とアジア太平洋地域の現況および課題などについてお話させていただきました。

川越ワイズメンズクラブ4月例会

アジア太平洋地域について

区ごとのクラブ数・会員数

区	クラブ数	会員数	会員数のパーセント
南東アジア区			
香港部			
オーストラリア	11	157	4
ネパール			
東日本	61	875	24
マカオ			
西日本	80	1474	40
SMIT部			
フィリピン	9	96	3
シンガポール			
タイ			
南東アジア	29	425	12
ミャンマー			
マレーシア			
スリランカ	10	109	3
バングラデシュ			
カンボジア			
インドネシア			
台湾	24	500	14
合計	224	3,636	100

3. 協議事項

1) 例会時間の変更について

河合今日子さんが自治会の役員になられた関係で、第4土曜日16時の例会開始時間変更のお願いがあり、6月から例会時間を変更することが了承されました。

6月例会から、第4土曜日 14:00~16:00となります。

2) 5月例会について

日時:5月28日(土)14:00~16:00

会場:き咲きてらす(さいたま市浦和区木崎3-6-6)

内容:埼玉3クラブ合同例会

野村路子さん卓話「(仮題)テレジンの子どもたち」

会費:500円

*経費として絵の運搬料(2万円)、講師謝礼(1万円)が発生するため、会費を徴収する。

その他:テレジン収容所の絵は、例会後も29日(日)、30日(月)2日間同じ場所に展示される。

以上の内容で実施することを了承しました。

3) 今後の日程

・5月22日(日) わいわい食堂

9時30分集合~13時解散

・5月28日(土)14:00~16:00 埼玉3クラブ合同例会(き咲きてらす)

- ・6月4日(土)13時～17時 第25回東日本区大会(Zoom)
- ・6月5日(日)9時～12時20分 同上
 - * 今回の区大会はZoomによる開催ですので、登録費は無料です。ふるってご参加ください。



ワイズメンズクラブ国際協会

第25回東日本区大会 ご案内



2022年4月

東日本区理事 大久保知宏、大会実行委員長 山田公平(宇都宮クラブ)

第25回東日本区大会実行委員会ではZoomによる開催を決定しました。参加費を無料とし、ウクライナやミャンマーの人々の平和と安全を祈り、献金に向けられればという願いも込めて決断しました。

6月4日(土)午前9時半から11時半まで、Zoomにて東日本区代議員会が開催されます。

同じ時間帯で、ユースの集い、メネット会、担当主事の会が別々にズームで開催されます。



第25回東日本区大会は6月4日午後1時から午後5時まで、及び翌6月5日(日)の午前9時から12:20までZoomにて開催されます。詳しいプログラムは下記の通り。

東日本区大会の進行表

時間	分	内容
6月4日		
1300-1420	80	開会式、祝辞、挨拶、メモリアル・アワー
1430-1530	60	東日本区アワー1 理事報告、部長報告など
1545-1700	75	ウクライナ情勢とワイズ・YMCAができること
6月5日		
0830-0900	30	聖日礼拝
0910-0940	30	YMCA ユースリーダーと共に
945-1115	90	東日本区アワー2 25周年企画、事業報告、表彰
1120-1200	40	新旧役員引継ぎ式
1200-1220	20	閉会式

申し込み受け付けは行いません。

下記のアドレスでご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/87350795778?pwd=TORBbDdM5amxVWV1N20EE4NiZPeVdwdz09>

ミーティングID: 873 5079 5778

パスコード: 754857

- ・6月25日(土)6月例会 14時～16時
- ・6月26日(日)9時30分集合 わいわい食堂

4. 報告

1)アースディ・イン・川越実行委員会

4月12日(火)吉野会長参加。

10月2日(日)に実施。「古書再読」での参加承認。

2)関東東部第2回評議会

日時:4月16日(土)13:30～16:30

会場:東京 YMCA 東陽町コミュニティセンターおよび Zoom 会議

当クラブ出席者:吉野会長、利根川恵子書記、吉田公代・部国際・交流事業主査、利根川太郎・部書記

内容:部長報告に続く事業主査報告では、国際・交流事業主査の吉田さんが、各クラブ活動報告では、吉野会長が、それぞれの報告を行いました。

議案としては、第1回評議会議事録の承認、

次々期関東東部部長選任(千葉ウェストクラブ・長尾昌男氏を承認)、次期役員承認および次期東日本区人数割代議員の人数と選出(1名、直前部長)、の3議案がすべて原案どおり可決されました。

た。また、協議題で、関東東部活動改訂準備委員会の発足が話し合われました。部則の改訂も含め、運営の見直しをして、持続可能性のあるクラブ活動の運営を考えようというもので、直前部長、部長、次期部長、各事業主査プラス有志の構成です。

3)わいわい食堂

日時:4月17日(日)10:30～12:30

参加児童:5名

ボランティア参加者:生川、吉田、河合、利根川恵子

次回:5月22日(日)ボランティア9時30分集合

4)「古書再読」用書籍保管場所

2022年4月分から月4,000円の使用料をYMCAに、チャリティファンドから支払うことを決定。

YMCA報告

河合今日子

<ウクライナ緊急支援募金 第2次募金について>

3月初旬の日本で暮らすウクライナ人から母親を呼び寄せたいとの相談から始まった日本YMCA同盟、ヨーロッパYMCA同盟、ウクライナYMCAとの連携による避難民支援は、4月28日現在、39組87名の支援につながっています。避難者の受入れ支援と同時に、今後は就労や教育など生活を中心とした長期のサポートが必要になります。ウクライナにいる家族の命、これからの生活、子どもの教育など、大きな不安の中にいる人々が少しでも安心して過ごせるよう、また、本国や近隣諸国で避難生活を続ける人々のためにご協力をお願い申し上げます。

◆募金期間

2022年5月1日～8月31日

・新しいちらしを添付いたします。

◆募金使途

(1)日本のYMCAとヨーロッパ諸国のYMCAが連携し、日本への避難を希望するウクライナの方、ご家族等の呼び寄せを希望される日本の方に、出国から来日までのトータルなサポートとケアを行います。ウクライナから近隣諸国への移動、ビザの申請、出国、渡航チケットの手配・費用の支援、来日後の生活のサポートを、一人ひとりの不安や希望を聞き取り、近隣YMCAや関係団体と協力しながら行います。

(2)ウクライナYMCAが行う、爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内避難する人々への支援活動のために用います。ウクライナYMCAは国内25拠点を置いて、宿泊場所提供、食品、衣類、医薬品、衛生製品を提供しています。また、恐怖心・トラウマを抱える子どもと若者に、心理的、社会的な緊急サポートを行います。

(3)ウクライナ近隣諸国のYMCAが行う、国外に避難する

ウクライナの人びとへの緊急生活支援のために用います。

<リーダー活動を通して感じたこと>

昨年から埼玉 YMCA の学生リーダーが少しずつ増えてます。参加のきっかけは様々で、「activo(アクティボ)」というボランティアの求人サイトからの応募、埼玉大学のサービスマーケティングからの継続、他 YMCA との関わりを通しての紹介などが多いです。コロナ禍で人との関わりが薄くなっている今、子どもが大好きで、子どもたちと一緒に活動しながら自分自身も成長したい！そんな熱い思いを持った学生が多く、私たちもリーダーから日々元気をもらっています。先日、あるリーダーと話をしました。地方から出てきて一人暮らし、生活費は自分で出しているの、食事は1日2食。友達から廃棄の食べ物をもらったり、お腹がすいたらガムを噛んだりして空腹をしのぎながら生活している・・・とのことでした。ここ最近、自宅通いの学生が多く、ひとまず食事には困らないという学生が多かったので、こういったリーダーは久しぶりでした。そういえば彼は、去年の宿泊キャンプで毎回おかわりして、夜食のおにぎりもおいしいおいしいと頬張っていました。彼をみていて、私がリーダーだった頃、当時の館長佐藤さんがリーダー会が終わるとよくごちそうしてくれてみんなとても喜んでたことを思い出しました。今は、コロナ禍で気軽にリーダーを食事に誘えないので、今度一緒に活動したときには、大きなおにぎりをたくさん作ってあげたいなと思いました。リーダー頑張れ！

YMCA の行う ウクライナ避難者支援



ウクライナ近隣諸国の YMCA の動き

ウクライナ YMCA の避難者支援活動は、その初期段階からポーランドやモルドバなど近隣諸国にある YMCA との連携が取られ、国外へ避難する人々を 24 時間体制で国境付近での受け入れ、生活支援が行われてきました。近隣諸国に避難するのは女性と子ども、高齢者が中心です。戦争から逃れるために初めて海外へ行き、まったく新しい環境に身を置くことになった人々を厚くサポートするのが YMCA の支援でした。また、これらの支援は政府や他の NGO などとの連携が持続的に実施できるように、また中長期の提供等を視野に入れ、総合的な仕組みを構築して提供されています。

YMCA のサポートによる避難者受け入れ

3 月初旬、毎週の呼び寄せ相談から地味な受け入れ支援はウクライナ及び近隣諸国の YMCA と迅速な連携を図り無事再会が叶いました。これを契機に来日及び来日後の相談が頻次しました。ウクライナから日本への避難者はパスポートがない、英語が話せない、時間のかかる各種手続きがあるなど、来日までにはいくつものハードルがあります。来日後も特定活動ビザがおりてからようやく住民登録ができ、それまで住宅や電話の契約、通関や登録が出来ず、落ちついて生活できるまで時間がかかります。通関やメンタルケア、言語の課題もあります。このような中、在日ウクライナ大使館や日本へ活動するウクライナ人コミュニティ、全国各地の YMCA はか、各地の企業・行政・NPO とネットワークを築きながら、一人ひとりのニーズを受け止めながら活動を行っています。



日本の YMCA の動き

- ◆日本に避難しているウクライナ人と家族のための交流・学びの場"Ukraine Cafe" HIMAWARE をオープンしました。
- ◆子どもの教育や日本語習得の学びの機会を提供が各地の YMCA で始まっています。

来日した
ロバテコさんの手記

YMCA は、世界最大規模の青少年団体です。

世界 120 の国・地域で展開し、6500 万人が参加しています。YMCA は地域社会に寄り添い、様々な社会課題に対してプログラムやサービスを展開しています。また一人ひとりが生き生きと大切にされ、豊かに暮らせるよう、社会正義、平和のために取り組んでいます。

国内外で災害が発生した際にはネットワークを通して被災地やそこに暮らす人々を支援しています。国内の場では全国 YMCA や関係機関・団体と連携し、避難者の受け入れやボランティアコーディネート、リフレッシュキャンプなどを進めています。また、日本の YMCA は日本から国際的なネットワークを持っており、年間のウクライナ危機に際しても、ネットワークとこれまでの経験を生かし、避難者に対して、迅速なサポートとケアを国際的に行っています。

日本の YMCA は 1946 年創設を合併後あり、北海道から沖縄まで全国に約 400 か所の拠点に、幼・保育園、専門学校、日本語学校、高齢者施設、キャンプ場や研修センターがあります。各地域センターでは一人ひとりが、豊かでよりよく暮らせるよう日常生活・子育てなどの教育やスポーツプログラム、シニアキャンプ、生涯を通じての学びやスポーツの場を提供しています。



埼玉 YMCA

公益財団法人埼玉 YMCA ポジティブネット募金事務局 〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町 1-39-2 Tel 04-2939-5051



ポジティブネット YMCA 国際協力募金

YMCA stands for peace; YMCA works for peace
YMCA は平和を希求し、平和のために働く

募金期間
5/1 -

8,31



世界 120 の国・地域にある YMCA のグローバルネットワークを通してウクライナの避難者の支援を行っています。

◆日本への避難を希望するウクライナの方とご家族等の呼び寄せを希望される方に、出国から来日と来日後のトータルサポートとケアを行います。
日本への避難者の道のり



◆現地 YMCA が本国及びウクライナから近隣諸国で避難生活をしている方の支援を行います。



3 月初旬、日本で暮らすウクライナから母親を呼び寄せたいとの相談を受け、日本 YMCA 側では、ヨーロッパ YMCA 同盟、ウクライナ YMCA と連携を図り、移住や教育のサポートを行い、3 月 18 日より早く日本へ入国、母親との再会が叶いました。これを契機に国内外から避難者受け入れに関する相談や依頼が相次ぎ、4 月 28 日現在、39 組 87 名の支援につながっています。

避難者の受け入れ支援と同時に、今後は就労や教育など生活を中心とした長期的サポートが必要で、ウクライナにいる家族の命、これからの生活、子どもの教育など、大きな不安の中にいる人々が少しでも安心して過ごせるよう、また、本国や近隣諸国で避難生活を送る人々のためにご協力をお願いいたします。

募金はこちらへ
【ゆうちょ】郵便振替口座 00120-5-118690
【銀行】埼玉りそな銀行 新所沢支店 1055522
※上記共に名義は、公益財団法人埼玉 YMCA 本連債に「ウクライナ支援」とお書きください。

本プロジェクトは、日本 YMCA 同盟が担当事務局である世界 YMCA 同盟とヨーロッパ YMCA 同盟、現地 YMCA、また、日本全国の YMCA、関係機関・団体と連携して行っています。

埼玉 YMCA

公益財団法人埼玉 YMCA ポジティブネット募金事務局 〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町 1-39-2 Tel 04-2939-5051



【編集後記】

アジア太平洋地域会長の通訳として、臨時国際議会 (5/9~5/11) に、その後オブザーバーとして国際 RDE サミット (5/11~5/14) に参加してまいりました。会場はドバイです。アラブ首長国連邦にはドバイを中心に 14 のワイズメンズクラブがあり、インド地域のミドルイースト部 (22 クラブ) の中核をなしています。ミドルイースト部のその他のクラブはオマーンとサウジアラビアです。ミドルイースト部がインド地域に属していることでおわかりになると思いますが、メンバーはすべてインド人です。RDE サミット参加者 66 名のうち 23 名がインド地域からでした。その勢いには圧倒されます。なぜインド地域がこのように勢いがあるのか？ BF 代表で 11 年前にインド各地を訪問させていただいた時に、当時の国際会長であったイサーク・パラティンカルさんが、家族での参加を奨励してから勢いづいたとおっしゃっていました。22 クラブほどの例会に出席しましたが、どのクラブも家族で参加しており、協議のあと、食事と子どもたちの特技披露で盛り上がっていました。このようなやり方が日本のワイズダムにすぐに特効薬にはなりそうもありませんが、何か少しでも参考にして、会員増強につなげたいものです。

(T.K.)